

日本鐵鋼協會記事

昭和 27 年度第 5 回理事會報告 日時：昭和 27 年 7 月 16 日 16 時 30 分～19 時。場所：協會々議室。出席者：(理事)内川 悟，菊池浩介，佐藤忠雄，田畑新太郎，横山均次。(前會長)俵 國一。(監事)志村清次郎，石田四郎。(常務委員)阿部信男，岡本正三，俵 信次，西村吉太郎(研究部委員)大原久之(代)小川巳彦(主事)金谷三松

報告事項 I. 昭和 27 年度第 4 回編集委員會報告 日時：27—6—24(火) 16 時 30 分～19 時。會場：協會々議室。出席者：(理事)菊池浩介君，横山均次君。(常務委員)芥川武君，俵 信次君，岡本正三君。(編集委員)池田義孝君，内山道良君，澤 繁樹君，長谷川正義君，濱本甲子生君，松下幸雄君，三橋鐵太郎君，森永孝三君，山木正義君，吉田道一君。(主事)金谷三松。報告 (1) 昭和 27 年 5 月號は 6 月 23 日竣成(諸般の事情により遅延)。2) 昭和 27 年 6 月號は 7 月 10 日頃に竣成の豫定。協議 (1) 7 月號原稿選定の件。(2) 徳島大學研究報告と會誌交換の件承認。(3) 瑞典 chalmers 工業大學圖書館より英獨語の科學研究報告と會誌交換の件(研究の上決定)。(3) 米國大使館文化交換部より米國廣報機關紹介に關する件，決定，會誌の埋草に出すこと。II. 昭和 27 年度第 1 回臨時總會報告 日時：27—7—16 締切。出席者：實際出席(意見提出者) 62 名。委任出席者 4,581 名。合計 4,643 名。決議：a 定款第 7 條中改正の件(維持會員費一ヶ年一口金 3,000 圓を 5,000 圓に値上げ)決定可決原案通り。意見提出者 62 名中 1 名丈け値上せず文部省へ上申して補助金の下附を受くべしとの意見あり(文部省では本年より會員 3,000 名以上の學會へは補助金を取止めのことゝなれり)。b 前項の改正を本年 1 月より實施の件決定原案通り，本件も意見提出者 62 名中 1 名丈け 1 月を取止め 6 月よりとすべしとの意見ありたり。III. 昭和 27 年度第 2 回評議員會 日時：27—7—16 締切。決議 元連合軍總司令部技術顧問ウィリアム・エス・ヴォーン氏を名譽會員に推薦の件決定原案通，投票資格者 113 名(理事 9，前會長 5，支部長 1，評議員 98)實際投票者 82 名(理事 9，前會長 5，支部長 1，評議員 67)。IV. 維持會員費 1 口の金額 3,000 圓を 5,000 圓に値上げ方承諾済みの成績。八幡製鐵 K.K.(60口) 富士製鐵 K.K.(50口) 日本鋼管 K.K.(50口) 等 71 社/117 社 之れより生ずる追加納入額 640,000 圓/826,000 圓。以上昭和 27 年 7 月 16 日迄の成績。

協議事項 (1) 秋季講演大會の件 a. 出席費決定本會は 100 圓とする。b. 實行委員追加承認。(2) 米國品質管理學會へ入會の件決定，入會手續をとること。(3) 毎日學術獎勵金受給者推薦の件 決定。會員中請求者あれば詮議のこと。(4) 鐵鋼要覽第 4 版出版發行に關し丸善と契約書取交の件 承認，原案通。(5) 現圖書室内模様替の件，a. 鋼板製書棚を買却但し書籍は室内側壁に沿い木製硝子附の棚を新設し中央スペースを會議室に設備替。b. 室内一部を仕切り食事準備用に充つ。c. 破損机，椅子，本箱類の不用品を賣却處分以上承認。(6) 入退會その他會員異動の件承認。(7) 昭和 27 年 6 月分收支決算審査の件承認。

鋼塊鑄型の顯微鏡組織判定法の頒布に就て

本誌 69 頁掲載標記の判定法の B5 判パンフレットが出来て居ります。これは研究用として組織寫眞を鮮明にする爲特に上質の紙を用い且寫眞は折込み式にしてありますので頗る考察に便利であります。御入用の方は協會宛御申込み下さい。一部 30 圓で御願ち致します。